



新年のごあいさつ

私の居宅は、約39年前に中古の家を倉庫付きで全額借金で購入した。その時の金融機関曰く「実さんは、他人の保証をたくさんしているから、奥さんの名義にしてくださいませんか」という話で、代位弁済で揉めたくないということであった。おかげさまで大きなトラブルに巻き込まれることなく数年前に完済することができた。

年末に玄関の御幣ごへいを付けるたびに「今年も年を越せそうです」と手を合わせる素直な気分になる。40年近くになると、さすがに家もがたがたがたがたと

寄ってきている。でも、文句言いなから雨露は凌しのぎている。

自分がある部屋は、倉庫と居宅部分を分けていないところだから、地震には強いよ。ある骨董屋さんで、それなりの値段で買ったかりんの重そうな座卓が偉そうに座っている。それを中心に書斎兼事務所が成り立っている。あとは椅子代わりで万年布団が腰を据えている。古雑誌と古本の山がテーブルの上にある。今の時期はミカンとせんべいが適当に置いてある。先日奥様が不釣り合いな大きなテレビを仕入れてくれた。

こうした平凡なお正月が続いてくれたら、なにも文句はない。ありがたいことである。せきと熱と腹痛と腰痛はいらない。

・新年にあたり、市民の皆様さまの平和な日常と、とにかく「健康」を衷心よりご祈念申し上げます・・・
お正月はお餅を中心に、おせち料理をおいしく食べられたら最高である。

新春のお慶びを

申し上げます

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、日頃より市議会の活動に對しましてご支援、ご協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナ禍からの活動回復が進み、日一日、日常を取り戻す年となりました。

私たち市議会におきましても、昨年、「議会報告会」を3年ぶりに実施、また「高校生議会」を開催するなど、議会本来の活動に加え、市民の皆様さまとの交流や議会啓発活動に傾注した年でありました。

政策提言の取り組みにおいても、

議員発議により「四国中央市農業振興条例」の制定を行うなど、開かれた議会や政策立案機能の充実に向けた議会改革の歩みを継続して進めております。

本年は「辰年」です。「日本一の紙のまち四国中央市」は、いよいよ今年市発足20周年を迎えますが、本市にとりまして、天翔ける竜（辰）のごとく飛躍の年となりますよう心から願うものであります。

市議会といたしましても、令和6年は改選の年度、区切りの年となります。今任期の総括をしっかりと行うべく、「行政と議会」が対等の立場で議論し、連携しながら、さまざま



四国中央市議会議長
篠永 誠司



四国中央市長
篠原 実

撮影場所 翠波峰 西峰展望台（金砂町平野山）

